

格付けの更新について

広島信用金庫（理事長 川上 武）では、株式会社日本格付研究所（ＪＣＲ）より、前回に続き、格付「Ａ」（シングルＡフラット）を取得しましたので、お知らせいたします。

記

1. 格付結果

格付け対象	長期発行体格付	
格付け	『Ａ』（シングルＡフラット）	【前回と変更なし】
格付け見通し	『安定的』	【前回と変更なし】

2. 格付事由

- ・格付は、事業基盤の厚みや、小口分散と保全の効いた貸出資産の質、リスク対比で充実した資本などを反映している。
- ・コア業務純益は安定的に推移している。収益力に改善の余地があるが、今後は預貸金利回り差の改善および余資運用収益増加により、利益水準と収益性は高まる方向にある。
- ・貸出資産の質は、一定の健全性が保たれている。小口分散と保全を効かせた厳格な与信運営などから、与信費用が多額となるリスクは小さい。
- ・市場部門では、金利リスクを主体にリスクをとっており、市場金利の上昇を受け、保有有価証券全体で相応の評価損を抱えている。
- ・資本の充実度は高い。有価証券評価損のさらなる拡大には注意が必要であるが、現状の資本の厚みなどを考慮すれば、今後も優位性のある資本水準が保たれるとみている。

3. 取得日 令和8年10月6日

◎ご参考：長期発行体格付の定義

ＡＡＡ	債務履行の確実性が最も高い。
ＡＡ	債務履行の確実性は非常に高い。
Ａ	債務履行の確実性は高い。
ＢＢＢ	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来債務履行の確実性が低下する可能性がある。
ＢＢ	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
Ｂ	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
ＣＣＣ	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
ＣＣ	債務不履行に陥る危険性が高い。
Ｃ	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
ＬＤ	一部の債務について約定どおりの債務履行を行っていないが、その他の債務については、約定どおりの債務履行を行っているとしてＪＣＲが判断している。
Ｄ	実質的にすべての金融債務が債務不履行に陥っているとＪＣＲが判断している。

※ＡＡからＢまでの格付記号には同一等級内の相対的な位置を示す区分として、「プラス（＋）」、「フラット（符号なし）」、「マイナス（－）」の三段階があります。

※長期発行体格付とは、債務者（発行体）の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。